

報道関係者各位

2013年10月22日
株式会社 毛髪クリニック リーブ21

がん化学療法に伴う脱毛解決(予防軽減)のための 医療機器(頭皮冷却装置)開発が 大阪トップランナー育成事業(平成25年度第4回)の認定を受けました

株式会社毛髪クリニックリーブ21(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:岡村勝正、以下リーブ21)は、2013年10月18日に、大阪府が中心となって成長産業分野の新たな製品・サービスの実現に向けてプロジェクトをサポートする「大阪トップランナー育成事業」において、『化学療法に伴う脱毛解決(予防軽減)のための医療機器(頭皮冷却装置)開発』が認定を受けました。



※認定ロゴマーク



2013年10月18日、ビジネスコラボレーション & サポートスクエア 316<Collabo'S (コラボス) 316>にて認定証授与式が開催され、大阪府より認定証を授与いただきました。

『化学療法に伴う脱毛解決(予防軽減)のための医療機器(頭皮冷却装置)開発』は、抗がん剤投与時に頭皮を冷却することによって毛細血管を収縮させ、頭皮部への不必要な薬剤の循環を防ぐことで、がん化学療法に伴う脱毛を予防軽減する装置の開発をめざす取り組みです。抗がん剤による副作用としての脱毛は周知されており、海外では同様の機器がすでに製造・販売されていますが、欧米人の頭部形状に適合したものであるため、日本人の頭部形状に適合したシリコンキャップの製作や、軽量・小型で操作の容易な機器が求められています。今後の開発にあたって、アジア圏を中心とした海外展開を見据えた知的財産戦略の強化や医療機器の製造や認証、量産を見据えた体制も強化していく必要があります。成長企業創造コンソーシアム(公財)大阪府都市型産業振興センター、営業創造(株) ※様の支援のもと、国際特許や医療機器開発のノウハウを持つ専門家からのアドバイスをいただくほか、国内外への販売戦略の策定などを進めていきます。

※ 成長産業分野における事業化プロジェクト支援事業(大阪トップランナー育成事業)は大阪府より委託を受け、公益財団法人大阪府都市型産業振興センターと営業創造株式会社が構成する共同体「成長企業創造コンソーシアム」が実施しています。

化学療法に伴う脱毛解決(予防軽減)のための 医療機器(頭皮冷却装置)開発について

抗がん剤投与時に頭皮を冷却することによって毛細血管を収縮させ、不必要な薬剤の循環を防ぐことで、がん化学療法に伴う脱毛を予防軽減する装置の開発をめざしています。がん治療における脱毛は、男性はもちろんのこと、女性においても根深い心の悩みとなり、外出時に帽子やウィッグが手放せない方が数多くいらっしゃいます。リーブ21は、本事業の開発をはじめ、薄毛に悩むすべての方の悩みを根本的に解消していく企業を目指します。

<使用イメージ>



【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社 毛髪クリニック リーブ21 広報部 尾上
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-5-13 三義ビル7階
TEL: 03-3510-1321 FAX: 03-3510-1311 Email: onoue@reve21.co.jp